

経営比較分析表（令和元年度決算）

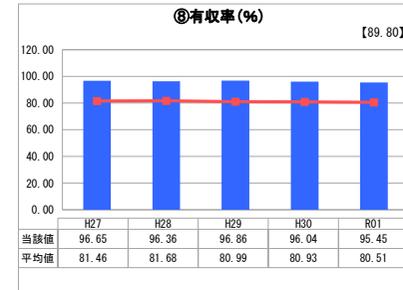
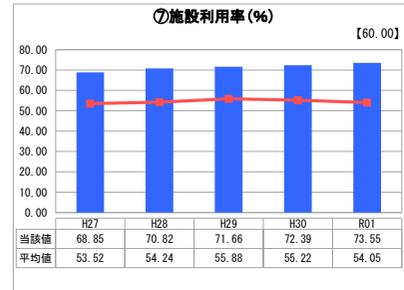
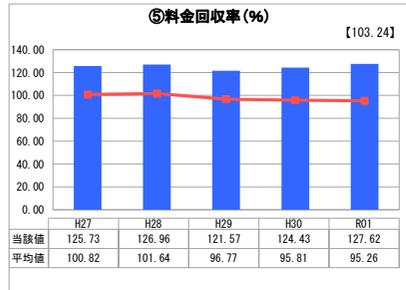
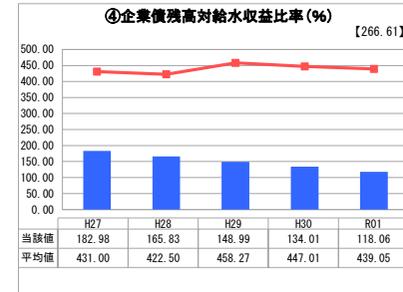
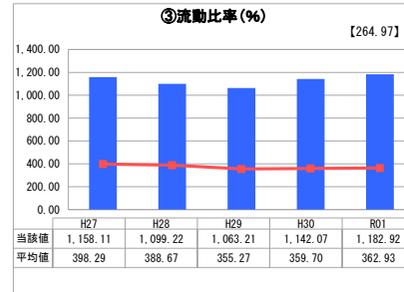
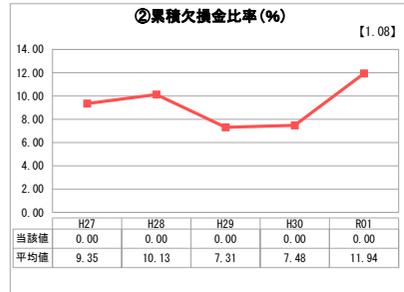
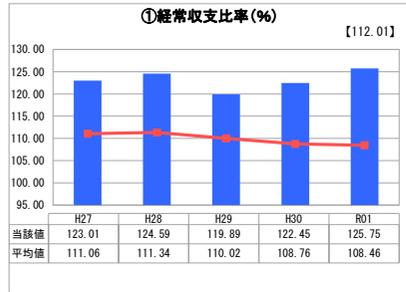
福岡県 広川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)	
-	86.17	73.60	4,500	

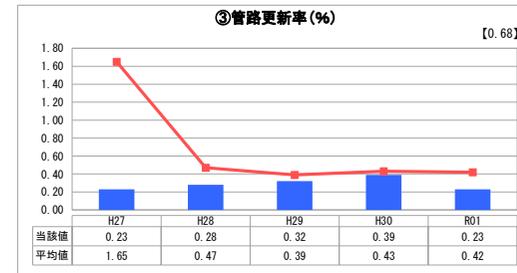
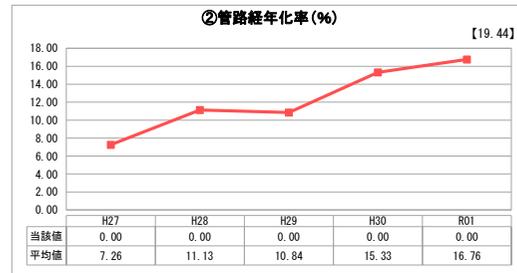
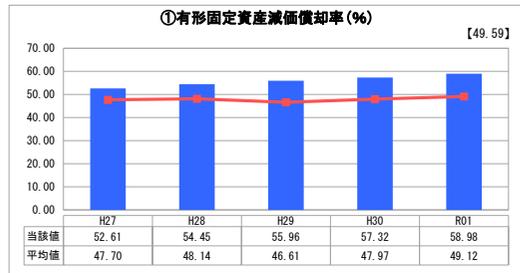
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,651	37.94	517.95
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
14,412	18.36	784.97

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

近年、各指標に大きな変動はありません。指標の数値につきましては、類似団体平均値と比較しても経常的な経営の健全性・効率性は保たれていると認識しています。分譲地における住宅や共同住宅の新築、地下水からの切り替えなどに伴い、給水人口は増加傾向にあり、あわせて料金収入も増加しております。今後更安全で安定した供給と経営の健全化を図ってまいります。

2. 老朽化の状況について

平成4年度に事業開始し、平成11年度までの8年、及び平成22年度の一部区域拡大で施設の整備を完了しております。そのため、管路更新の時期につきましては、法定耐用年数の40年を基準とすると直近で10数年先になります。その他電気設備、機械設備については保守点検業者からの報告を確認しながら修繕・更新の対応をしています。指標につきましては、大きな問題はないと考えておりますが、随時施設の状況を把握し、時期を逸すことがないよう毎年度の事業費を平準化した更新計画を立案してまいります。

全体総括

現在は安定している経営状況と考えています。ただし、将来的には人口減による料金収入の減少、施設および管路の老朽化など、多くの課題があります。安定した経営に向けて、財政計画、維持管理・更新計画を検討し、実行する必要があります。